【授業科目】精神看護学概論　Introduction to Mental Health and Psychiatric Nursing

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
大西 信行、松田 陽子	2年次 前　期	必　修	1	15	講　義	あり	巻末掲載	可

授業概要 (内容と進め方) 及び課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	授業概要／こころのメカニズムや人々が社会の中でよりよく生きるための精神看護の機能と役割を学習する。 社会生活の中で精神の健康がどのように問題について理解し、支援の制度やシステムについて学習する。 精神保健医療福祉の変遷から現代社会におけるこころの健康への取り組みや、生活者としての総合的な視点から心の健康について学習する。精神看護の視点をもち、様々な場でのメンタルヘルスケアについて理解する。 映像やPFノートを効果的に使用し展開する。 課題に対するフィードバック方法／毎回振り返り表を学生は記入し、質問内容等については全体にも適宜講義中にﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸする。
実務経験に関する 授業内容	看護師の臨床経験を持つ教員が、看護師として必要な精神看護学の知識ついて、資料・教材を交えながら指導していく科目である。
授業の 位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー③「専門的知識・技術に基づき、地域に暮らすあらゆる健康レベルの人々にそれぞれ必要とされる看護を実践することができる。」の達成に寄与している。
到達目標 (履修者が到達 すべき目標)	①　精神保健医療福祉の問題について、総合的な視点から考え説明できる。 ②　精神看護の機能と役割を考え、説明ができる。 ③　精神保健医療システムの歴史と現状について学び、社会生活の中で精神の健康が及ぼす影響や、それに対する支援や制度およびシステムについて説明できる。
時間外学習に必要 な学習内容および 学習上の助言	事前学習：指定の教科書を事前に読んでおくこと。 精神障がいに苦しむ人の理解は難しい。したがって講義では具体的な内容を、症例や映像を含めて説明する。そのため該当する部分の教科書を事前・事後に読み、概念的理解をしたうえで具体的内容と関連付ける学習が望ましい（各30分）。 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（2単位15回科目の場合：予習+復習4時間／1回）（1単位15回科目の場合：予習+復習1時間／1回）（1単位8回科目の場合：予習+復習4時間／1回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。

授業計画	第１回　精神看護とこころの健康 (1)精神看護学の考え方・精神保健　(2)こころの健康及びメンタルヘルス不調 (3)リエゾン精神看護	①大西
	第２回　精神看護における危機と危機介入・防衛機制 (1)ストレスとコーピング　(2)危機とはどのような状況か　(3) 防衛機制について	②大西
	第３回　ライフサイクルと危機 (1)こころの発達と健康　乳幼児期～老年期の発達的危機	③大西
	第４回～第５回　現代社会とこころの健康 (1)　現代社会特有の精神保健上の問題の実情と社会的背景 （児童虐待・いじめ・ひきこもり (2)　現代社会特有の精神保健上の問題の実情と社会的背景・ （自殺・依存症・PTSD/DV・ハラスメント）	④大西 ⑤松田
	第６回～第７回　精神保健医療福祉の歴史と変遷 (1)精神保健福祉とそれに関連した制度としくみ (2)精神障がい者にかかわる法律(入院形態、隔離・拘束)	⑥⑦松田
	第８回　こころとからだ　一般科におけるメンタルヘルスケア	⑧大西・松田

評価方法 評価基準	定期試験 90%、出席態度 10%		
教科書	精神看護の基礎　精神看護学[１][２]	参考書等	なし
学生への 助言等	精神看護学は人間理解に基づいた看護学の分野です。講義の中で自分なりの体系化を試みてみましょう。 こころの健康はすべての人に大きく深く関わります。興味を持って主体的に学んでください。		